

第5回談話会報告

プロジェクトの今年度最後、第5回目の談話会が2014年12月22日（月）に開催されました。プロジェクトのメンバー、大学院生・学類生など46名が参加しました。

今回は前半は生物系・計画系の連携研究の進捗状況報告、後半は設定されたテーマに基づく話題提供と意見交換、という構成で進められました。世話人の黒沢さんの司会により、まず3名の報告者（黒沢、三部（川崎さんの代理）、塘）からの5件の連携研究報告がありました（連携研究については今年度の報告書の中で紹介されますので、今回の報告では省略します）。その後、「裏磐梯の自然環境における基礎データの蓄積とその利用」というテーマで、6名の話者提供による発表がありました。以下に話者提供者と発表タイトルを記します。塘忠顕・大平創・増淵翔太

「裏磐梯地域の底生動物相」、兼子伸吾「マイクロサテライトマーカーから探る生物の現在、過去、未来」、遠藤優年「桧原湖東部、非植林地域の泥流上における森林の成立過程と現在の植物相」、石川和希「裏磐梯、1888年泥流上の森林遷移」、山田恭央「桧原湖北部および沼沢湖におけるプランクトン群集」、三部和哉「北塩原村民のエコツーリズムに関する意識とプロジェクトの研究結果の認知度に関する調査」。教員からはプロジェクト以前も含めた5年間にわたる調査データの蓄積、プロジェクトで得られたデータを活用しながら新たな手法に基づく研究展開が紹介されました。一方、学生と院生からは今年度の調査で得られたデータに基づく「新鮮な」研究成果が紹介されました。

今回の談話会の準備をして下さった世話人の黒沢さんと黒沢研の学生・院生の皆さん、話者提供者の皆さんに改めて感謝申し上げます。来年度はいよいよプロジェクトの最終年です。兼子さんからも指摘されましたが、最終年である来年度中に課題を一つでも多く解決できるよう、データを一つでも多く公表できるよう、まずは今年度の研究成果をしっかりとまとめましょう。



今回の世話人は黒沢さん



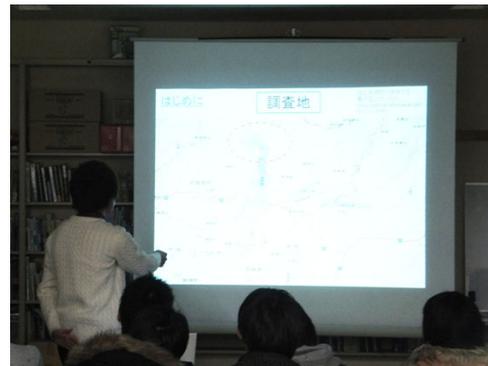
前半は5件の連携研究報告



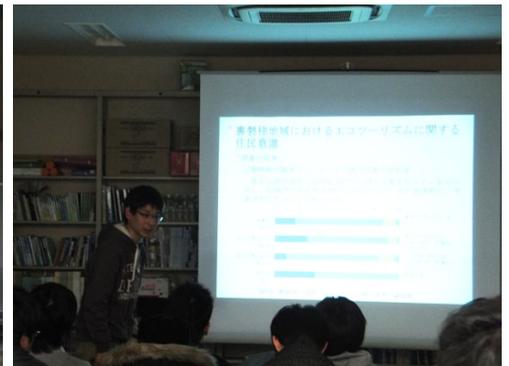
遠藤優年君（黒沢研）の発表



石川和希君（木村研）の発表



山田恭央君（難波研）の発表



三部和哉君（川崎研）の発表